

建設環境常任委員会

委員長 平野 和生

〔一般 会 計〕

問 利用者の減少に伴い、路線バスが廃止になるかもしれない場合に備えて、公共交通サービスを考えているか。

答 今は考えていないが、今後、町全体の施策として考える必要がある。

問 ニホンアワサンゴの活用をどのように考えているのか。

また、白木半島地域整備の基本計画には、どのようなものが計画されているのか。

答 ニホンアワサンゴについては、白木半島全体で活用していくため、ニホンアワサンゴ協議会とは別の活用推進組織を今年度中に設立し、移行する方向で進めている。

なお、白木半島主体の振興計画については、町の体制として政策

企画課が中心となり、農林課、商

工観光課で6月29日にプロジェクトチームを設立した。その内容の一つに、沖家室島の学校跡地を利用した沖家室アウトドアフィールドの建設を計画している。

問 道路橋りよう維持管理事業の賃金は、草刈経費としてどのくらい支出したのか。

また今後、サポーター制度等を導入することによる、新たな取り組みは考えているのか。
答 賃金の約15,600千円は、全て草刈に要した支出である。

新しい制度の導入については検討していきたい。

〔簡易水道事業特別会計〕

問 浮島の海底送水が供用開始した後の非常時の対応および

既存の水源など、どのように考えているのか。

答 非常時の対応は、東和第一配水池の給水を緊急的に遮断した上で供給分を確保し、海底送水管で浮島へ送水する。現在使われている施設の維持管理は中断する。

〔下水道事業特別会計〕

問 下水道の受益者分担金は敷地の面積で決定することになつていないと思うが、見直しの考えはあるか。

答 受益者分担金については、現行どおりの敷地面積による算出方法で進めたい。

〔農業集落排水事業特別会計〕

問 委託料にある維持管理業務とピット清掃業務は業者が異なるのか。業者が同一であれば、契約を一本化することにより、諸経費だけでも安価にできるのではないか。

答 処理場内と点在しているマンホールポンプ場の維持管理業務は分けて契約しているが、

業者は同一である。業務内容を精査し検討する。

〔水道事業特別会計〕

問 断水時に外部からの応援が見込めない場合、町独自の体制は整えてあるのか。

答 自主防災組織、自治会などの、自助、共助を進め、軽トラ部隊のようなものを作り上げ、動ける人を確保していくしか手段がないのではないかと考えている。

なお、給水所に設置する折りたたみ式タンク等、今後も継続して予算要求をする。また、全体的なプランについても消防防災班と連携しながら検討してまいりたい。



産業建設部 商工観光課の審査